

Liberal Arts Letter for Freshmen



ハイライト:

- ・ 新生の皆さんへ
- ・ キャンパスライフにおける注意事項について
- ・ からだやこころの不調に気づいたら
- ・ 障害学生サポートルームより
- ・ 自身のキャリアを意識しよう
- ・ 情報の公開範囲を意識していますか？
- ・ 学生広報大使を募集しています！
- ・ キミもGFL生になろう！

新生の皆さんへ

新生の皆さん、群馬大学入学おめでとうございます。いよいよ、これから大学での生活が始まります。保護者の方も、母校の先生方も、皆さんの活躍を大いに期待していることと思います。これから私たち教職員一同も、皆さんと一緒に勉強に励む環境を整え、大学での生活を楽しく意義あるものとしていきたいと思っています。

大学受験が終わった今、皆さん、ほっとしているところかもしれませんが、今のこの時期は皆さんの脳は恐ろしくくらいに活発に活動している時期です。しかし、ほっておくとすぐにさめてしまいます。鉄は熱いうちに打てと言いますが、この時期こそ、新しいことを吸収し自分のものとしていく絶好のときです。幅広く多くのことを経験し、吸収し、身に付けていってください。経験して初めてわかることがたくさんあります。明日の自分が、今日の自分よりどれだけ成長したかは、いま何にどれだけ打ち込んだかで決まります。そのためには、これから何をしたいのかという目標を定めていく作業を、自分の力で考え抜いて実行していくことだと思います。

将棋の世界では、昨年、藤井聡太六段が目覚ましい活躍をしました。中学

生棋士の四段となったかと思うと、29連勝し、そして名人や竜王といった並み居る強豪に勝利し、棋戦で優勝まで勝ち取り、あっという間に六段にまで勝ち上がってきました。彼の力の源泉の一つは、よく言われるように詰め将棋の能力です。将棋で勝つには、最後は相手の王様を詰める必要がありますので、その最終形をイメージできる力があるということに他なりません。もう一つは、中学生離れした落ち着きと表現力です。前者は、新しい局面にあっても、最善の道を探る上での基礎となるものであり、後者は借り物ではない、自分の考えをしっかりと持っているということだと思います。四段でデビューしてからたった1年余りの間に、彼は数多くの対戦からたくさん自分のことを吸収し、自分のものとしていくことによって、名人にも勝てるだけの実力を身に付けたのです。

彼自身も言っているように、二十歳すぎくらいまでは自分の力がどんどんのびていく時期であり、多くのことを吸収していける時期です。皆さんも、この時期にしっかりと勉強し、沢山の知識を身につけてきたからこそ、群馬大学の学生として入学してきた訳です。これからは、知識だけでなく、人間を磨く、いわゆる



大学教育・学生支援機構長
理事(教育・企画担当)
窪田 健二

目次

新生の皆さんへ	1
キャンパスライフにおける注意事項について	2
からだやこころの不調に気づいたら	3
障害学生サポートルームより	3
自身のキャリアを意識しよう！	4
情報の公開範囲を意識していますか？	4
学生広報大使を募集しています！	5
教務システムを使いこなそう	5
キミもGFL生になろう！	6

教養を身につけていく格好の時期です。教養は、勉強による知識だけでは身に付きません。やはり、起こってきた問題に対して、どこに問題の核心があるのか、どう対処すべきか、といったことを、自ら考え行動し、その結果を反省していくことにより身に付くものです。今流行の言葉で言えば、課題解決能力やPBLなどがそうです。これからの大学生活の中でのチャレンジ、それぞれが

皆さんの将来を明るくものへと変えていく一番の力となります。

最後に、論語から皆さんの今後の参考になる言葉を引用します。意味は自分で調べてください。「学而時習之。不亦説乎。」（学而第一）
「学而不思則罔，思而不学則殆。」（為政第二）

キャンパスライフにおける注意事項について

【飲酒について】

お酒は昔から「百薬の長」といわれるように適量であれば、食欲増進やストレス解消、疲労回復など、色々な効用があります。しかし、適量を超えると肝臓や膵臓などの臓器障害にも陥りやすくなります。また、イッキ飲みなどで急激にアルコールを摂取すると血液中のアルコール濃度が急激に高くなり、呼吸中枢が麻痺して最悪の場合は死に至る場合もあります。アルコールを受け付けない体質の人もいますので、お酒の無理強いはもちろん、イッキ飲みは絶対に行わないでください。なお、未成年者の飲酒は成長期にある脳の神経細胞への影響が大きく、成長障害等への危険性が高くなりますので、未成年者は絶対にお酒を飲んではいけません。

【夜間騒音】

大変残念なことですが、毎年、近隣住民等から騒音苦情が大学に寄せられてきます。特に夜間帯での大声、自動車、バイクの音などは注意してください。社会を構成する大学の一員として、近隣住民に迷惑の掛からない行動を心がけてください。

【危険ドラッグ】

危険ドラッグの乱用者が犯罪を犯したり、重大な交通死亡事故を引き起こす事件が後を絶たず、深刻な社会問題となっています。一時の興味本位等の安易な気持ちから大学生活やその後の人生が台無しにならないよう絶対には買わない、使用しないでください。

【駐輪場】

たった1台の違法駐輪のため多くの方が迷惑しています。特に通行帯への駐輪は歩行者、障害者の妨げだけでなく、命に関わる緊急時の救急、消防活動や災害時の避難の妨げにもなります。みんな

が駐輪しているのだから自分だっていいだろう、とは思わずに自転車は必ず決められた場所に駐輪してください。

【交通事故の防止】

自動車での交通事故が起きる多くの原因は「前方不注意」、「スピード超過」、「一時停止違反」など初歩的なものばかりです。また、運転中での携帯電話による通話や、メール等の画面確認、送受信操作による事故も多発しております。交通ルールを遵守し、安全運転を心がけてください。

自転車での雨天時の傘差し走行、無灯火走行、音楽プレイヤーを使用しながらの運転等は重大事故に繋がりますので、絶対にやめましょう。

【学生の違法行為等に関する処分】

大学は社会に出る前の最後の学校生活の場です。本学の学生として、自覚と責任をもって大学生活を送ることが大事です。残念ながら、未成年者の飲酒、窃盗、盗撮、無免許運転、試験における不正行為などを行う学生が少なからずいます。不正行為や違法行為等を行った場合は、停学や退学等の処分を受けることとなります。

停学等の処分となった場合、留年になることもあります。また、保証人（保護者を含む。）に通知するとともに、懲戒の内容及び事項などを学内に告示します。さらに、奨学金や授業料免除の交付停止や取消しになることもあります。

詳細は、大学ホームページ「教育・学生生活」/「その他関連情報」をご覧ください。

【その他】

その他、大学生活を送るうえで注意すべきことについて、全学オリエンテーション時に別途配布された冊子「学生生活は危険がいっぱい」を読んでください。

からだやこころの不調に気づいたら



健康支援総合センター
教授 竹内一夫

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

健康支援総合センターは、学生皆さんのからだやこころの健康に関する相談を受け、さまざまな支援を提供する場所です。

からだやこころの不調は、環境が変化したときに起こりやすく、自分でもよくわからない内に発症したり、悪化したりするので注意が必要です。

センターでは、毎年、健康診断時の問診表の結果を基に、心身の不調が疑われる学生の呼び出しをして、医師やカウンセラーによる面接を実施しています。

呼び出しがありましたら、自分のからだやこころの状態を知る良い機会として、一度、センターに来てください。必要に応じて医療相談やカウンセ

リング、外部の医療機関も紹介しています。

また、身体的な不調に併せて、修学に困難さを感じるなど大学生活に支障が出る可能性がある場合には、障害学生サポートルームとも連携をとって、学生の皆さんのサポートを行っていきます。新しい生活が始まり、多くの学生が期待とともに緊張や不安を感じています。睡眠や食事のパターンが大きく変わる学生もよく見られます。症状が深刻になる前に、早めに、そして気軽にセンターに相談に来てください。相談については、予約制になっていますが、問い合わせは随時受け付けています。私達スタッフは、皆さんが送る学生生活を充実したものにできるように、お手伝いをしていきますので、積極的に活用してください。

障害学生サポートルームより

みなさんは「障害学生サポートルーム」をご存知ですか？ 荒牧キャンパス教養教育GB棟の1階と、桐生キャンパスの1号館学生支援系の奥にあります。聴覚障害や視覚障害、肢体不自由といった身体的な障害のある学生が利用する場所というイメージが強いかもしれませんが、発達障害により認知特性のアンバランスがある学生や、メンタルヘルスの不調がある学生、あるいは修学に影響のある持病のある学生など、傍目からは障害があることがわからない学生もたくさん利用しています。大学生活を円滑に送る上でどのような工夫や調整が必要かは学生によって大きく違いますので、障害学生サポートルームでは個別の相談を丁寧に行い、その人に合ったプランを提案しています。「支援を受ける」というと、とても特別なことと感じる人も多いと思いますし、もしかしたら「甘えではないか」と考えて無理をしている人もいるかもしれません。しかし、視力の低い人が眼鏡をかけるように、骨折したときに松葉杖を使うように、生活上の不便を補うためにさまざまな工夫

を凝らすことは何ら特別なことではありません。障害学生サポートルームでは、障害に起因する学生生活上の困難を最小限にして、学生の持つ本来の力を十分に発揮できるようにサポートをします。何らかの困り感を抱えている方も、あるいはそうした学生と一緒に大学での学びを深めたいという方も、気軽に下記までご相談ください。

障害学生サポートルーム（荒牧）受付
月～金曜日 8:30～17:15
TEL：027-220-7114

自身のキャリアを意識しよう！



大学教育センター
教授 松元宏行

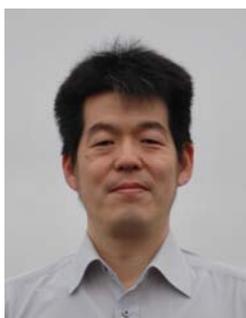
新一年生の皆さん、群馬大学ご入学おめでとうございます。これから皆さんは入学された学部で専門的な知識を学び、また多くの友人をつくることで色々な研鑽を積み重ねていくわけです。教育学部、社会情報学部、医学部、理工学部、これまでに群馬大学は各学部の特色によって多彩で有意な人材を広く社会に輩出してきました。

さて、現代社会は目まぐるしく変化し、10年前に最先端であったことが現在では陳腐化していることが多々あります。皆さんが20年後社会の中核をなす人材となった時に自分の選んだキャリアが果たしてその時代を牽引するものであるかは予測が難しい時代になりました。しかし、恐れることはありません。皆さんがこれから大学で学ぶこと、特に初年次教育で学ぶ化学、

物理、生物学、数学といった基礎科目や英語に代表される語学、その他多彩な教養科目は時代がどのように変わろうとも諸科学の基礎をなすものなのです。

新入生の皆さんには是非とも大学一年生から自身の歩もうとするキャリアについて意識をめぐらせて欲しいと思います。そのために群馬大学では、社会情報学部、理工学部には就業力科目を設定しており学生諸君のキャリア意識向上の一助としていますが、他学部においても学部の特性を生かしたキャリア支援が用意されています。群馬大学の一員となられた皆さん、大学生活の中でいろいろな能力や手技を身につけ、社会がどのように変化しようともそれに対応できる存在となるよう努力しましょう。

情報の公開範囲を意識していますか？



総合情報メディアセンター
講師 濱元 信州

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。LINEやTwitter, InstagramなどのSNSはすっかり世の中に定着し、学生の皆さんは、友人とのやり取りや、情報発信を行っていると思います。ただ、書き込んだ情報が、どこまで公開されるか把握していますか？「読めるのは友達だけ」と思い込んでいませんか？今一度見直してみましよう。

大学では高校と比べて、課外活動の幅も広がり、機密情報を知る機会も増えます。アルバイト先、教育実習、病院等での実習、研究活動、インターンシップなど、どれも「個人情報」などの機密情報を扱う活動です。

個人情報、アルバイト先やインターンシップなどで知り得た情報は公開してはいけないものです。他人が写りこんでいる写真や、他人を見かけたという情報も、本人の承諾なしに書き込んではいけません。当然ですが、誹謗中傷、差別的

な内容、違法行為を煽る情報なども公開するものではありません。

一旦書き込んだ情報が拡散されると、完全に消去することはできません。取り返しがつかない事態になってしまいます。例えば、就職に影響があるかもしれません。SNS上での行動に問題がある場合には、内定がもらえないこともあるそうです。SNSは、友人や社会とのコミュニケーションを加速する便利なツールですが「書き込んだ情報を見られるのは誰か」をよく考えて利用しましょう。



学生広報大使を募集しています！

群馬大学では、学生ならではの視点を本学の広報活動に活かしてもらうとともに、その経験を学生自身の成長にも繋げてもらうことを目的として、学生広報チーム「学生広報大使」を昨年6月に発足させました。

昨年度は、216名の学部生・大学院生が学生広報大使として登録し、オープンキャンパスや学外での進学相談会などにおいて、スタッフとして活躍しました。イベントの来場者には「学生の方々がさわやかで、丁寧に対応してくれた」「在校生の方々とふれあえて良かった」と好評だったほか、学生広報大使からも「やりがいを感じた」「いい経験ができた」といった感想が寄せられました（活動実績の詳細については、後掲の群馬大学Webサイト・学生広報大使のページを御覧ください。）。

今年度は、より多くのイベントや広報誌に参加していただくほか、新たなイベント等の企画にも携わっていただきたいと考えています。既に、今夏の群馬大学オープンキャンパス「GU' DAY2018」については、学生広報大使によるプログラムやグッズの企画作業が進行中です。

学生広報大使は随時募集しています。学業等の都合に合わせて、参加可能なイベント等を選んで活動できますので、興味を持った方はお気軽に登録してください。

○問合せ先

学務部学生受入課

（荒牧キャンパスGA棟1階6番窓口）

E-mail : g-admission@jimu.gunma-u.ac.jp

○学生広報大使のページはこちら

<http://www.gunma-u.ac.jp/studentlife/g29322>



「GU'DAY2017」キャンパスツアーで案内する学生広報大使

教務システムを使いこなそう

教務システムとは、Web（パソコン、スマートフォン等）から、授業に関することをはじめ、試験日程、成績参照、学生の呼び出し等に至るまで、非常に重要な情報をお知らせするために導入しているシステムです。学生の皆さんは、毎日必ず確認する習慣をつけてください。

操作方法の詳細は、全学オリエンテーションで配布しましたマニュアルを読んでください。

また、教務システムを終了するときは、必ず「ログアウト」ボタンをクリックして閉じましょう。ログアウトをしておくことで、セキュリティが向上します。

◆平成30年度 履修登録期間

前期 4月9日（月）～4月20日（金）厳守

後期 10月1日（月）～10月15日（月）厳守

登録した内容は、履修登録期間を過ぎると修正・追加ができません。期間内に入力間違いや登録漏れがないか必ず再確認してください。

◆ポートフォリオ

皆さんの学修過程での各種の成果を収集し、整理したもののことです。学生生活の中で考えたことや感じたこと、経験したことや学修したことを、記録(証拠)として残し、指導教員等に見せられるようにするための仕組みです。

前期は、履修登録期限と同じ4月20日（金）までに入力してください。

キミもGFL生になろう！

「GFL」とは、「自国及び他国の文化・歴史・伝統を理解し、外国語によるコミュニケーション能力を持ち、国内外において地球的視野を持って主体的に活動できる人（グローバルフロンティアリーダー（GFL）」を育成するコースです。

GFLでは、通常授業以外に多彩なプログラムが受講できます。例えば、早期から専門領域に触れられるよう「特別講演会」や「企業訪問&先輩ゼミ」などがあります。

また、特別にアレンジした海外留学プログラム



▲グローバル交流セミナー・サマーセミナー

や、「グローバル交流セミナー・サマーセミナー」、外国人教員による特別プログラムにより、幅広い国際的視野と語学力を身に付けます。

将来グローバルに活躍したい人、自分の能力を伸ばしたい人を大歓迎します。

GFLに関する問い合わせ先

1. 教育・社情GFLコース

- ・教育学部 教務係
(教育学部C棟1階 事務窓口)
- ・社会情報学部 教務係
(社会情報学部棟3階 事務窓口)

E-mail : kyousyagfl-admin@ml.gunma-u.ac.jp

2. 医理工GFLコース

- ・昭和地区事務部学務課 医学科教務係
- ・昭和地区事務部学務課 保健学科教務係
(昭和キャンパス 共用施設棟3階)
- ・理工学部学務係
(桐生キャンパス 1号館1階)

E-mail : irikougfl-admin@ml.gunma-u.ac.jp

3. GFLコース全般

- ・学務部教務課
(荒牧キャンパスGA棟1階3番窓口)

E-mail : gfl-admin@ml.gunma-u.ac.jp

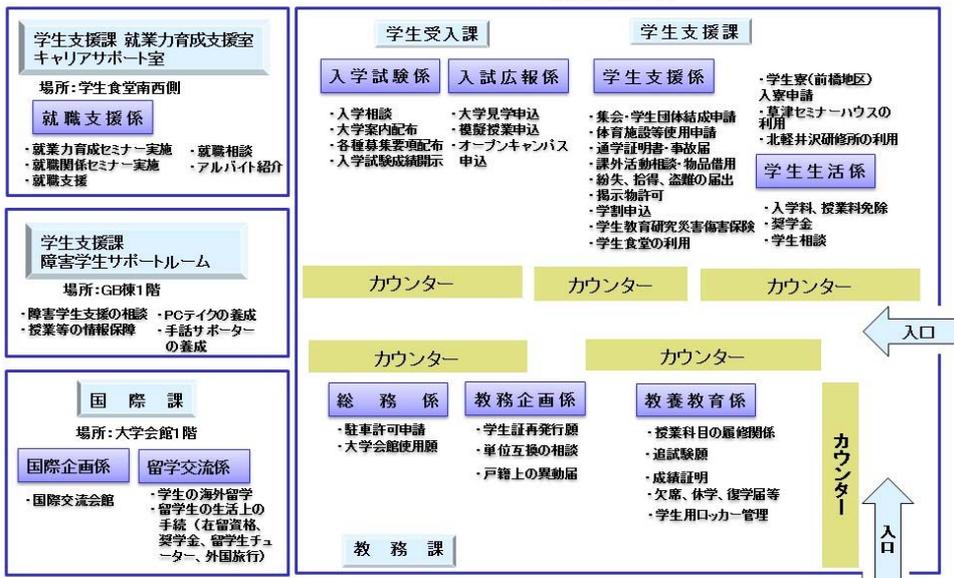
GFLのホームページも見てください
<http://gfl.jimu.gunma-u.ac.jp/>

担当窓口(係):学生センター

場所:教養教育GA棟

【窓口受付時間】

平日8:30~17:15



大学教育・学生支援機構

平成30年4月発行
発行元 学務部教務課

〒371-8510
前橋市荒牧町4-2
電話: 027(220)7128
FAX: 027(220)7620

Webサイトもご覧ください。
http://www.gunma-u.ac.jp/html/campus/for_student_0_1.html

